

Title	文学書籍における複合動詞の使用傾向：22の後項動詞を指標として
Sub Title	
Author	村田, 年(Murata, Minori)
Publisher	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
Publication year	2015
Jtitle	日本語と日本語教育 No.43 (2015. 3) ,p.61- 80
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	調査報告 挿表
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20150300-0061">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20150300-0061</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 文学書籍における複合動詞の使用傾向

—22 の後項動詞を指標として—

村 田 年

## 1. はじめに

複合動詞の後項動詞は、文章のジャンルを判別するための有効な指標の一つとなる可能性があると考えられる（村田 2008）。本稿では、村田・山崎（2012）、村田（2013）に引き続き、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）を用いて、その中の文学書籍に現れる複合動詞を対象に、22 の後項動詞を指標として使用頻度調査を行う。

## 2. 研究目的

複合動詞の後項動詞が文章のジャンル判別の指標となり得るかどうかを実証的に分析することを目的として、本稿では、文学ジャンルの文章における複合動詞の後項動詞の使用傾向を明らかにする。資料としては『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）の書籍コーパス内の「文学」の文章を用いる。

## 3. 調査対象

### 3.1 調査対象としての後項動詞

調査対象は、姫野（1999）を参考に選択した 22 の後項動詞である<sup>1)</sup>。以下に 22 後項動詞を挙げる。

〈22 後項動詞〉（アイウエオ順）

あう、あがる、あげる、あわせる、いる、いれる、かかる、かける、き

る、こむ、こめる、だす、たつ、たてる、つく、つける、でる、とおす、なおす、なおる、ぬく、まくる

### 3.2 調査対象としての文章資料

調査に用いた資料は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下 BCCWJ）の書籍データである。BCCWJ のデータ量は表 1 のとおりである。書籍内は 11 に分類され、その内訳は「総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術・工学、産業、芸術・美術、言語、文学、なし」である。各分類の語数は表 2 に示す。なお、この調査で使用した書籍の部分についての詳細は山崎（2009）に詳しい。

表 1 BCCWJ のデータ量

サブコーパス	ジャンル	サンプル数	語数(万)
出版サブコーパス	書籍	10,105	2,849
	雑誌	1,989	443
	新聞	1,479	138
図書館サブコーパス	書籍	10,461	3,011
	白書	1,500	488
	教科書	412	93
特定目的サブコーパス	広報紙	354	400
	ベストセラー	1,377	371
	Yahoo! 知恵袋	91,445	1,028
	Yahoo! ブログ	52,680	1,027
	韻文	253	23
	法律	346	100
	国会会議録	159	510
合計		172,560	10,481

表 2 書籍 NDC 別の語数

書籍の NDC 別内訳	語数
0 総記	642,351
1 哲学	1,799,241
2 歴史	2,674,253
3 社会科学	6,854,656
4 自然科学	1,631,154
5 技術・工学	1,363,963
6 産業	878,954
7 芸術・美術	1,311,554
8 言語	492,255
9 文学	11,267,012
分類なし	478,536
合計	29,393,929

(注)「語数」は、コーパスの構築に際して使われている解析の言語単位である「短単位」で数えたもの。空白、補助記号(句読点など)、記号(A、B、C、ア、イ、ウなど)を含まない数である。

## 4. 調査方法

### 4.1 複合動詞の抽出方法

複合動詞の抽出方法は村田・山崎(2012)と同様である<sup>2)</sup>。

### 4.2 調査結果の整理—複合動詞の選択方法—

用字の異なりをはじめ、前項動詞の音便形の存在など、様々な問題があ

るため、本調査では以下の方法で見出し語としての複合動詞を選択した。

- (a) 各後項動詞の用字の差異（例：あう／合う／会う）ならびに動詞の活用変化の形（例：あわな、あいます、あう、あえば、あおう、あって、あった等）は同定して同じ動詞項目として扱った。
- (b) 複合動詞の前項動詞については、同音で用字が異なるものはコーパスの語彙素項目の用字に合わせて整理した。例えば、「書き出す」は「掻き出す」とは別の見出し語になっているが、「探し出す」は「捜し出す」として一つの見出し語となっている。このように本調査の結果としてまとめた表内の複合動詞の代表見出し項目については、異なる用字の可能性も含まれている。
- (c) 本調査では複合動詞の動詞としての用法を対象とするので、語彙素項目が動詞でも、実際には名詞、副詞として用いられているものは使用頻度からは外した。例えば、「届出印」という語の「届出」、「思い切って輸入する」の「思い切って」のような用法である。
- (d) 前項動詞が音便形になっている語については、斎藤（1992）が指摘するように、前項動詞が音便形になる語が必ずしも非音便形を持つわけではなく、音便形と非音便形の意味関係も同じとは限らない。例えば、辞書<sup>3)</sup>で「ぶつける」は「ぶっつけるの転」という説明があるが、実際には各語の意味するところは同一とは言えない。前項動詞が音便形になっている語は、このように複雑な意味関係を持つため、別の見出し語として立てた。ほかにも、「引き込む」と「引っ込む」、「くっ付く」と「食い付く」のような例がある。
- (e) 「打ち込める」のようにその意味から考えて対応する「打ち込む」の可能形と考えられるものがあるが、本調査では出現形のままで数えている<sup>4)</sup>。
- (f) 動詞が三つ続く場合は最後尾の動詞を後項動詞とした。

## 5. 調査結果

### 5.1 結果の概要

書籍コーパスの文学ジャンルにおける 22 の後項動詞による複合動詞の総延べ語数は 129,268 語であった。各後項動詞の使用頻度（延べ語数）は表 3-1 のとおりである。これまでに行った社会科学ジャンルの調査結果（2013）ならびに自然科学系ジャンル（含技術・工学）の調査結果（2012）と比較するために、それぞれの結果を表 3-2 と表 3-3 に示す。

22 の後項動詞による複合動詞の総延べ語数を比較すると、圧倒的に文学ジャンルにおける複合動詞の使用が多いことがわかる。これは、日本語教育での現場の経験的な感覚を裏付けるものである。文学、社会科学、自然科学（含技術・工学）の三つのジャンルでは、文学における複合動詞の使用が最多で、社会科学、自然科学の順で少なくなっている。

次に、文学ジャンルにおける個別の後項動詞について見ていく。表 3-1 で使用頻度が圧倒的に高いのは、20,000 語を超える「だす」「こむ」の 2 動詞で、これら後項動詞とする複合動詞は、本調査における全複合動詞の総延べ語数の約 37% を占めている。造語力の高い 10,000 語台の動詞は、「つける」「あげる」「かける」の 3 動詞で、これらの語から成る複合動詞を上記の結果と合わせれば、全複合動詞の約 63% を占める。さらに、7,000～8,000 語台の「つく」「あがる」「あう」までの 8 動詞による複合動詞を合わせれば全体の約 82% となり、そこに 3,000 語台の「かかる」「きる」までを入れれば、10 後項動詞から成る複合動詞によって全体の約 87% を占めることとなる。つまり、文学ジャンルの書籍に出現する 22 の後項動詞の上位 10 後項動詞を含む複合動詞で、その約 9 割がカバーされているということになる。

ここで、社会科学ジャンルの調査結果（2013）ならびに自然科学系ジャンル（含技術・工学）の調査結果（2012）と比較してみよう。

社会科学ジャンルの調査結果（2013）では、表 3-2 からわかるように、

「だす」「こむ」の2動詞を含む複合動詞の延べ語数が、22の後項動詞のいずれかを含む複合動詞の総延べ語数の約34%を占め、その次に造語力の高い「あう」「あげる」「つける」の3動詞の各延べ語数を加えれば、全体の約61%となっている。さらに、「かける」「いれる」「つく」「あがる」「たてる」「きる」までの頻度数上位11動詞を合わせれば全体の約87%、つまり、約9割がカバーされている。

一方、自然科学系ジャンル（含技術・工学）の調査結果（2012）では、表3-3のように、「だす」「こむ」の2動詞を含む複合動詞の延べ語数が、22の後項動詞のいずれかを含む複合動詞の総延べ語数の約35%を占め、その次に造語力の高い「つける」「あげる」「あう」の3動詞を合わせると約61%となっている。さらに、頻度数上位11位までの後項動詞「つく」「かける」「あわせる」「あがる」「いれる」「たつ」の各延べ語数を合わせれば全体の約88%、つまり、約9割がカバーされている。

このように、社会科学ジャンルならびに自然科学系ジャンルにおける上位11後項動詞の相対的な使用傾向はほぼ同様の結果であった。また、上位11語の内訳については、「だす」「こむ」「つける」「あげる」「あう」「かける」「いれる」「つく」「あがる」の9語が共通し、残りの2語については、社会科学ジャンルには「たてる」「きる」が入り、自然科学系ジャンル（含技術・工学）では「あわせる」「たつ」が入っていた。

文学ジャンルについても、社会科学ジャンルならびに自然科学系ジャンルの調査と同様に、11位の後項動詞（「いれる」）を加えて、22の後項動詞のいずれかを含む複合動詞の総延べ語数全体に占める割合を計算すると、約88%となる。11位までの後項動詞の内訳を見ると、文学ジャンルと社会科学ジャンルでは、10語が共通していて、残りの1語として、文学ジャンルには「かかる」が、社会科学ジャンルには「たてる」が入っている。また、文学ジャンルと自然科学系ジャンルでは、9語が共通していて、それ以外の2語として、文学ジャンルには「かかる」と「きる」が、自然科学系

ジャンルには「あわせる」と「たつ」が入っている。

次に、社会科学ジャンルならびに自然科学系ジャンルの調査の際にも行ったように、22の後項動詞を大きく三つ（上位5語、中位9語、下位8語）に分けて、ジャンルごとにその比較を試みる。

文学ジャンルも、他の二つのジャンルと同様、上位5語が、6位以下の語に比べて、延べ語数が非常に多いと言える。最多の「だす」に「こむ」が続くのは、他の二つのジャンルと同様である。上位3位から5位については、「つける」と「あげる」が共通するものの、文学ジャンルでは、「かける」が5位に、「あう」が8位に入っている。他の二つのジャンルに比べて、「かける」の使用頻度の高さが目を引く。

中位の6位から14位の9語については、社会科学と自然科学系の両ジャンルでは、語の順位に差はあるものの、9語すべてが共通している。一方、文学ジャンルでは6語（「つく」「あがる」「きる」「いれる」「たてる」「なおす」）は他の二つのジャンルと共通しているが、それ以外の3語については、「かける」「つく」が上位グループに、「あわせる」が下位グループに入っている。他の二つのジャンルでは、「あう」は上位グループに、「かかる」「でる」は中位グループに入っている。文学ジャンルでは、中位グループ9語の中でも、上位の3語（6位～8位）の「つく」「あがる」「あう」の使用頻度の高さが際立つ。

下位グループ15位から22位の8語については、文学ジャンルの15位「たつ」、16位「あわせる」が、他の二つのジャンルと異なるが、それ以外の6語は三つのジャンルで共通し、三ジャンルとも20位以下の3語「なおる」「まくる」「とおす」の使用頻度の低さが目を引く。

なお、22の後項動詞からなる複合動詞の全語数に占める割合をジャンルごとに比較すると、文学ジャンルでは全語数の約1.1%（129268/11267012=0.011）、社会科学ジャンルでは全語数の約0.6%（37620/6854656=0.0055）、自然科学系ジャンル（含技術・工学）では約0.8%（26104/2995117

=0.0077) となっている。

以上、22の後項動詞のいずれかを含む複合動詞の延べ語数の観点から、三つのジャンルを比較すると、文学ジャンルの使用頻度が圧倒的に高いが、各ジャンル内の22後項動詞を含む複合動詞の相対的な使用傾向は非常に似た特徴を持っていると言えよう。

次に、異なり語数について見てみる。22後項動詞の異なり語数については、文学ジャンルを表4-1として、社会科学ジャンルを表4-2として、自然科学系ジャンル(含技術・工学)を表4-3として示す<sup>5)</sup>。

村田(2012、2013)で、後項動詞の使用頻度が高ければ、結合する前項動詞の種類もそれに比例して多いというわけではないことはすでに指摘した。表3-1と表4-1を比較して見るとわかるように、今回の文学ジャンルの調査からもそれが確認される。異なり語を100語以上持つ後項動詞を上位から見ていくと、文学ジャンルでは10語、社会科学ジャンルでは7語、自然科学系ジャンルでは6語である。異なり語数上位2語「あう」と「だす」は、三つのジャンルとも共通である。自然科学系ジャンルの6語には、これ以外に「こむ」「なおす」「あげる」「きる」の4語が入り、その6語は、社会科学ジャンル7語のうちの6語と共通している。社会科学ジャンル7語は、その6語に「かける」が加わり、その7語は文学ジャンル10語のうちの7語と共通している。文学ジャンル10語には、その7語のほかに「かかる」「つける」「まくる」の3語が加わる。

このように、異なり語数の上位の後項動詞は、延べ語数が大きく異なっても、三つのジャンルに共通していて、それぞれのジャンルにおける各後項動詞の相対的な頻度順位も近いことがわかった。一方、異なり語数が極端に低いのは「なおる」で、三つのジャンルともに際立って少ないのが目を引く。つまり、前項動詞にバリエーションが殆どないということである。

次に、22の後項動詞ごとに複合動詞の使用傾向を具体的に見ていく。

表 3-1 22 後項動詞使用頻度順  
(文学)

	後項動詞	延べ語数
1	だす	26500
2	こむ	21852
3	つける	11923
4	あげる	10739
5	かける	10504
6	つく	8526
7	あがる	7700
8	あう	7627
9	かかる	3272
10	きる	3216
11	いれる	2357
12	たてる	2073
13	なおす	2013
14	でる	1972
15	たつ	1825
16	あわせる	1815
17	こめる	1348
18	ぬく	1329
19	いる	1324
20	なおる	683
21	まくる	338
22	とおす	332
	合計	129268

表 3-2 22 後項動詞使用頻度順  
(社会科学)

	後項動詞	延べ語数
1	だす	7026
2	こむ	5631
3	あう	3839
4	あげる	3499
5	つける	3056
6	かける	2304
7	いれる	2145
8	つく	1953
9	あがる	1271
10	たてる	1077
11	きる	1003
12	なおす	961
13	たつ	751
14	あわせる	719
15	でる	555
16	かかる	500
17	ぬく	409
18	こめる	361
19	いる	239
20	とおす	120
21	なおる	101
22	まくる	100
	合計	37620

表 3-3 22 後項動詞使用頻度順  
(自然科学系)

	後項動詞	延べ語数
1	だす	4683
2	こむ	4526
3	つける	2550
4	あげる	2238
5	あう	1905
6	つく	1385
7	かける	1321
8	あわせる	1276
9	あがる	1249
10	いれる	1216
11	たつ	665
12	きる	613
13	なおす	572
14	たてる	560
15	でる	386
16	かかる	272
17	ぬく	224
18	こめる	189
19	いる	125
20	まくる	58
21	とおす	53
22	なおる	38
	合計	26104

表 4-1 22 後項動詞使用頻度順  
(文学)

	後項動詞	異なり語数
1	だす	536
2	あう	391
3	きる	322
4	こむ	257
5	かける	256
6	なおす	205
7	あげる	185
8	かかる	149
9	つける	140
10	まくる	127
11	あがる	90
12	つく	88
13	たてる	85
14	でる	76
15	あわせる	66
16	こめる	61
17	たつ	58
18	いる	53
19	いれる	52
20	とおす	52
21	ぬく	44
22	なおる	7
	合計	3300

表 4-2 22 後項動詞の異なり語頻度  
順 (社会科学)

	後項動詞	異なり語数
1	あう	355
2	だす	280
3	こむ	176
4	きる	120
5	なおす	113
6	あげる	108
7	かける	100
8	つける	94
9	つく	61
10	あがる	57
11	あわせる	50
12	まくる	49
13	かかる	46
14	たてる	42
15	こめる	40
16	ぬく	39
17	でる	38
18	いれる	37
19	とおす	27
20	たつ	25
21	いる	22
22	なおる	5
	合計	1884

表 4-3 22 後項動詞の異なり語頻度  
順 (自然科学系)

	後項動詞	異なり語数
1	あう	237
2	だす	217
3	こむ	179
4	なおす	128
5	あげる	103
6	きる	102
7	つける	94
8	かける	94
9	あがる	57
10	つく	55
11	いれる	52
12	あわせる	43
13	たてる	38
14	でる	38
15	まくる	38
16	かかる	35
17	こめる	34
18	ぬく	28
19	いる	25
20	たつ	21
21	とおす	13
22	なおる	4
	合計	1635

ここでは対象となる複合動詞が 129,268 語と非常に多いため、便宜上、延べ語数が 30 回以上の語だけを表 5-1 から表 5-5 までに頻度順に挙げる。

表 5-1 から表 5-5 では、各見出し後項動詞の同じ欄に、その後項動詞から成る複合動詞の使用総数に当たる延べ語数と、異なり語数を、(7627\*391) のように記してある。表 5 を見るとほとんどの後項動詞で、使用頻度が非常に高い複合動詞は上位の限られた数の語であることに気づく。これは自然科学系ジャンル（含技術・工学）ならびに社会科学ジャンルの調査結果と同様である。これら上位の複合動詞の使用が当該後項動詞全体の中でどのぐらいの割合を占めているか、村田（2013）の調査と同様の方法で見してみる。

各後項動詞によって構成される複合動詞はその総数が異なるため、便宜上、延べ語数が 1,000 語以上のものは上位 4 語の場合と 8 語の場合を、1,000 語未満のものは上位 2 語の場合と 4 語の場合についてそれぞれ全体数における使用割合を調べてみた。その結果を表 6-1 に示す。なお、比較のために社会科学ジャンルの調査結果を表 6-2 に、自然科学系ジャンル（含技術・工学）の調査結果を表 6-3 に挙げる。

表 6-1 を見るとわかるように、各後項動詞の上位 4 語あるいは 2 語という非常に限られた数の語だけで、使用割合が全体の約 50% あるいはそれ以上の後項動詞が 22 語中 6 語（「あがる」「あわせる」「いれる」「こめる」「なおる」「ぬく」）で、上位 8 語まで広げれば、22 語中 16 語（「あげる」「いれる」「かかる」「かける」「たつ」「つく」「つける」「でる」「とやす」「なおす」）に上り、後項動詞全体の約 7 割を超える。残りの 6 語（「あう」「きる」「こむ」「だす」「たてる」「まくる」）は、上位語の全体に占める割合が低いことから、これらの語を後項動詞とする複合動詞は相対的に使用頻度がばらけているということがわかる。

ここで、上位 8 語という非常に限られた数の語で、三つのジャンルに共通して、使用割合が全体の約 50% 以上を占めている後項動詞を見ていく。

表 5-1 22 後項動詞による使用頻度 30 回以上の複合動詞 (文学ジャンル)

	あう (7627*391)		あがる (7700*90)			
1	付き合う	991	1 立ち上がる	3195	20 書き上げる	115
2	話し合う	569	2 起き上がる	528	21 吹き上げる	103
3	似合う	499	3 浮かび上がる	482	22 押し上げる	94
4	知り合う	390	4 出衆上がる	363	23 締め上げる	90
5	向かい合う	333	5 飛び上がる	345	24 切り上げる	83
6	向き合う	254	6 盛り上がる	327	25 盛り上げる	81
7	抱き合う	252	7 膨れ上がる	220	26 捏ち上げる	76
8	取り合う	189	8 燃え上がる	213	27 跳ね上げる	74
9	語り合う	176	9 湧き上がる	205	28 打ち上げる	70
10	愛し合う	152	10 駆け上がる	192	29 跳い上げる	68
11	絡み合う	131	11 浮き上がる	186	30 築き上げる	67
12	触れ合う	124	12 持ち上がる	156	31 仕立て上げる	67
13	落ち合う	122	13 跳ね上がる	115	32 しゃくり上げる	67
14	言い合う	106	14 這い上がる	108	33 引っ張り上げる	66
15	重なり合う	103	15 召し上がる	98	34 縛り上げる	65
16	請け合う	92	16 震え上がる	89	35 吊り上げる	58
17	溶け合う	89	17 吊り上がる	68	36 まくり上げる	57
18	見詰め合う	84	18 迫り上がる	61	37 抱え上げる	56
19	寄せ合う	82	19 腫れ上がる	61	38 摘み上げる	54
20	見合う	79	20 吹き上がる	55	39 磨き上げる	54
21	分かち合う	79	21 伸び上がる	49	40 吸い上げる	50
22	掛け合う	75	22 仕上がる	43	41 蹴り上げる	48
23	睨み合う	73	23 禿げ上がる	42	42 乗り上げる	47
24	ぶつかり合う	68	24 干上がる	40	43 調べ上げる	45
25	混じり合う	66	25 押し上がる	37	44 担ぎ上げる	38
26	混み合う	55	26 躍り上がる	35	45 たくし上げる	38
27	遣り合う	54	27 縮み上がる	34	46 練り上げる	36
28	引き合う	53	28 すくみ上がる	30	47 結い上げる	36
29	噛み合う	51			48 存じ上げる	35
30	分け合う	51			49 育て上げる	32
31	笑い合う	49	あげる (10739*185)		50 ねじり上げる	32
32	関わり合う	48	1 見上げる	1601	51 数え上げる	31
33	頷き合う	47	2 申し上げる	941	52 撫で上げる	30
34	揉み合う	47	3 取り上げる	838		
35	競い合う	44	4 引き上げる	708		
36	囁き合う	43	5 持ち上げる	634		
37	張り合う	43	6 込み上げる	415	1 あわせる (1815*66)	
38	混ざり合う	43	7 差し上げる	329	2 見合わせる	500
39	助け合う	39	8 作り上げる	260	3 居合わせる	169
40	渡り合う	39	9 張り上げる	257	4 持ち合わせる	132
41	握り合う	37	10 拾い上げる	238	5 組み合わせる	126
42	闘ぎ合う	36	11 積み上げる	231	6 問い合わせる	88
43	纏れ合う	35	12 振り上げる	214	7 重ね合わせる	72
44	出し合う	34	13 突き上げる	207	8 待ち合わせる	67
45	交わり合う	32	14 抱き上げる	190	9 突き合わせる	67
46	通じ合う	32	15 搔き上げる	185	10 打ち合わせる	62
47	隣り合う	31	16 吊り上げる	179	11 こすり合わせる	47
48	奪い合う	30	17 巻き上げる	156	12 申し合わせる	39
49	擦れ合う	30	18 読み上げる	143	13 繋ぎ合わせる	38
50	誓い合う	30	19 仕上げる	127	14 示し合わせる	33

表 5-2 22 後項動詞による使用頻度 30 回以上の複合動詞（文学ジャンル）

	いる (1324*53)			かける (10504*256)			きる (3216*322)	
1	見入る	166	1	出かける	2090	1	言い切る	209
2	恐れ入る	145	2	話しかける	878	2	仕切る	175
3	聞き入る	106	3	追いかける	694	3	疲れ切る	154
4	立ち入る	98	4	見かける	589	4	断ち切る	153
5	押し入る	96	5	呼びかける	581	5	振り切る	123
6	寝入る	74	6	仕かける	471	6	分かり切る	91
7	食い入る	73	7	言いかける	424	7	張り切る	88
8	分け入る	71	8	問いかける	365	8	打ち切る	84
9	消え入る	61	9	引っかける	262	9	成り切る	84
10	取り入る	57	10	語りかける	233	10	思い切る	79
11	込み入る	47	11	投げかける	223	11	乗り切る	79
12	感じ入る	45	12	笑いかける	219	12	突っ切る	76
			13	押しかける	194	13	冷え切る	75
			14	見せかける	191	14	踏み切る	75
			15	持ちかける	160	15	割り切る	66
1	受け入れる	829	16	微笑みかける	143	16	押し切る	64
2	踏み入れる	301	17	立てかける	134	17	取り仕切る	62
3	差し入れる	137	18	成りかける	126	18	澄み切る	61
4	迎え入れる	132	19	振りかける	85	19	締め切る	59
5	仕入れる	109	20	畳みかける	74	20	のぼり切る	57
6	取り入れる	109	21	凭せかける	72	21	乾き切る	52
7	聞き入れる	103	22	吹きかける	71	22	掻き切る	34
8	乗り入れる	81	23	追っかける	69	23	信じ切る	34
9	申し入れる	80	24	囁きかける	65	24	下り切る	33
10	招き入れる	77	25	働きかける	61	25	煮え切る	31
11	引き入れる	66	26	浴せかける	55			
12	投げ入れる	46	27	吐きかける	55			
13	運び入れる	41	28	開きかける	54		でる (1972*76)	
14	請じ入れる	33	29	行きかける	49	1	申し出る	206
			30	詰めかける	48	2	進み出る	200
			31	突っかける	42	3	突き出る	170
	かかる (3272*149)		32	死にかける	40	4	滲み出る	120
1	引っかかる	461	33	忘れかける	38	5	走り出る	101
2	襲いかかる	386	34	吹っかける	37	6	流れ出る	100
3	取りかかる	304	35	ぶっかける	36	7	溢れ出る	94
4	差しかかる	252	36	鎮きかける	34	8	願い出る	79
5	通りかかる	242	37	立ち上がりかける	33	9	浮き出る	75
6	寄りかかる	237	38	傾きかける	31	10	抜け出る	69
7	飛びかかる	172	39	射かける	30	11	飛び出る	56
8	のしかかる	170	40	訴えかける	30	12	躍り出る	51
9	降りかかる	132				13	湧き出る	46
10	凭れかかる	123				14	吹き出る	43
11	切りかかる	63				15	抜き出る	41
12	掴みかかる	63				16	届け出る	40
13	突っかかる	52				17	這い出る	39
14	出かかる	51				18	名乗り出る	38
15	殴りかかる	49				19	食み出る	33
16	倒れかかる	46				20	進り出る	33
17	挑みかかる	33						
18	成りかかる	30						

表 5-3 22 後項動詞による使用頻度 30 回以上の複合動詞（文学ジャンル）

	こむ (21852*257)							
1	覗き込む	1048	51	引き摺り込む	118	101	挟み込む	38
2	飛び込む	995	52	紛れ込む	118	102	刈り込む	36
3	突っ込む	899	53	流し込む	116	103	彫り込む	36
4	乗り込む	821	54	嵌め込む	116	104	引っ張り込む	35
5	飲み込む	784	55	溶け込む	115	105	くわえ込む	33
6	吸い込む	602	56	着込む	113	106	使い込む	33
7	思い込む	546	57	決め込む	112	107	煮込む	32
8	入り込む	546	58	ぶち込む	112	108	嵌まりこむ	31
9	巻き込む	509	59	仕込む	111	109	丸め込む	30
10	考え込む	493	60	眠り込む	105			
11	座り込む	414	61	注ぎ込む	103			
12	持ち込む	387	62	組み込む	100		こめる (1348*61)	
13	踏み込む	380	63	沈み込む	99	1	閉じ込める	401
14	潜り込む	370	64	刻み込む	97	2	引っ込める	194
15	押し込む	357	65	転がり込む	97	3	立ち込める	163
16	黙り込む	317	66	埋め込む	95	4	飲み込める	113
17	差し込む	311	67	切り込む	90	5	押し込める	90
18	放り込む	311	68	叩き込む	90	6	封じ込める	63
19	駆け込む	294	69	寝込む	89	7	突き込める	59
20	打ち込む	270	70	信じ込む	87	8	塗り込める	33
21	忍び込む	269	71	頼み込む	87			
22	落ち込む	263	72	のめり込む	86			
23	包み込む	259	73	見込む	86			
24	吹き込む	259	74	減り込む	86			
25	滑り込む	251	75	撃ち込む	85			
26	送り込む	245	76	へたり込む	84			
27	追い込む	243	77	買い込む	79			
28	射し込む	242	78	積み込む	78			
29	しゃがみ込む	230	79	話し込む	77			
30	流れ込む	215	80	雪崩れ込む	73			
31	詰め込む	209	81	迷い込む	70			
32	書き込む	203	82	攻め込む	67			
33	倒れ込む	202	83	溜め込む	67			
34	割り込む	201	84	張り込む	65			
35	投げ込む	195	85	走り込む	64			
36	食い込む	187	86	振じ込む	63			
37	逃げ込む	187	87	付け込む	61			
38	抱え込む	185	88	はたき込む	61			
39	引っ込む	185	89	舞い込む	59			
40	屈み込む	181	90	売り込む	58			
41	運び込む	179	91	上がり込む	57			
42	引き込む	162	92	教え込む	52			
43	咳き込む	161	93	惚れ込む	52			
44	染み込む	156	94	聞き込む	49			
45	回り込む	154	95	誘い込む	49			
46	取り込む	133	96	振り込む	48			
47	押さえ込む	131	97	注ぎ込む	44			
48	連れ込む	130	98	織り込む	43			
49	仕舞い込む	127	99	冷え込む	41			
50	申し込む	126	100	刷り込む	40			

表 5-4 22 後項動詞による使用頻度 30 回以上の複合動詞 (文学ジャンル)

だす (26500*536)			たてる (2073*85)					
1	思い出す	3983	51	掘り出す	89	1	掻き立てる	180
2	取り出す	2002	52	描き出す	87	2	仕立てる	152
3	飛び出す	1301	53	抜き出す	87	3	突き立てる	142
4	差し出す	1250	54	震え出す	84	4	組み立てる	111
5	言い出す	806	55	怒り出す	81	5	捲し立てる	108
6	逃げ出す	806	56	鳴り出す	80	6	駆り立てる	101
7	歩き出す	693	57	這い出す	80	7	追い立てる	92
8	乗り出す	655	58	歌い出す	73	8	急き立てる	76
9	突き出す	640	59	醸し出す	73	9	引き立てる	75
10	吐き出す	536	60	張り出す	73	10	見立てる	75
11	持ち出す	506	61	打ち出す	72	11	騒ぎ立てる	68
12	吹き出す	497	62	書き出す	72	12	並べ立てる	61
13	呼び出す	425	63	盗み出す	67	13	申し立てる	57
14	泣き出す	406	64	喋り出す	64	14	取り立てる	52
15	投げ出す	397	65	誘い出す	63	15	責め立てる	49
16	走り出す	389	66	締め出す	61	16	飾り立てる	45
17	放り出す	381	67	語り出す	60	17	言い立てる	42
18	抜け出す	357	68	騒ぎ出す	57	18	囃し立てる	42
19	引き出す	352	69	湧き出す	56	19	書き立てる	39
20	切り出す	351	70	割り出す	53	20	押し立てる	34
21	笑い出す	319	71	助け出す	52	21	喚き立てる	33
22	駆け出す	315	72	選び出す	51	22	煽り立てる	30
23	動き出す	313	73	探り出す	51			
24	追い出す	310	74	売り出す	48			
25	作る出す	300	75	叩き出す	47		たつ (1825*58)	
26	踏み出す	290	76	成り出す	47	1	突っ立つ	237
27	生み出す	267	77	駆り出す	46	2	下り立つ	195
28	捜し出す	260	78	迫り出す	43	3	成り立つ	192
29	引っ張り出す	254	79	弾き出す	43	4	飛び立つ	168
30	連れ出す	247	80	踊り出す	41	5	思い立つ	136
31	映し出す	240	81	掴み出す	41	6	聳え立つ	82
32	聞き出す	233	82	つまみ出す	41	7	奮い立つ	78
33	照らし出す	224	83	叫び出す	40	8	連れ立つ	77
34	送り出す	215	84	漕ぎ出す	39	9	熱り立つ	73
35	見付け出す	203	85	導き出す	37	10	沸き立つ	72
36	繰り返す	188	86	撃ち出す	35	11	切り立つ	60
37	押し出す	170	87	編み出す	34	12	そそり立つ	59
38	流れ出す	170	88	滲み出す	34	13	浮き立つ	57
39	食み出す	151	89	浮き出す	32	14	突き立つ	53
40	絞り出す	138	90	痛み出す	31	15	燃え立つ	48
41	話し出す	129	91	貼り出す	31			
42	運び出す	128	92	おびき出す	30			
43	剥き出す	111	93	紡ぎ出す	30			
44	引き摺り出す	104						
45	起き出す	101						
46	降り出す	99						
47	救い出す	97						
48	曝け出す	96						
49	溢れれ出す	93						
50	考え出す	92						

表 5-5 22 後項動詞による使用頻度 30 回以上の複合動詞 (文学ジャンル)

	つく (8526*88)			つける (11923*140)				
1	落ち着く	1813	1	見付ける	2647	51	乗り付ける	50
2	思い付く	749	2	押し付ける	758	52	据え付ける	46
3	辿り着く	636	3	駆け付ける	645	53	備え付ける	43
4	しがみ付く	421	4	睨み付ける	603	54	踏ん付ける	43
5	凍り付く	328	5	叩き付ける	417	55	有り付ける	37
6	張り付く	313	6	突き付ける	357	56	漕ぎ着ける	37
7	追いつく	312	7	引き付ける	318	57	擦り付ける	37
8	くっ付く	281	8	締め付ける	313	58	塗り付ける	34
9	結び付く	271	9	投げ付ける	284	59	寝付ける	32
10	取り付く	252	10	取り付ける	275	60	蹴り付ける	30
11	飛び付く	244	11	結び付ける	257	61	縫い付ける	30
12	抱き付く	236	12	巻き付ける	232			
13	噛み付く	213	13	押さえ付ける	221			
14	絡み付く	156	14	決め付ける	196		なおす (2013*205)	
15	行き着く	143	15	見せ付ける	177	1	思い直す	161
16	くびり付く	140	16	打ち付ける	167	2	取り直す	158
17	住み着く	127	17	張り付ける	158	3	座り直す	154
18	縄り付く	126	18	開き付ける	157	4	立て直す	135
19	考え付く	124	19	言い付ける	151	5	見直す	129
20	まとわり付く	123	20	縛り付ける	148	6	考え直す	111
21	巻き付く	106	21	殴り付ける	148	7	やり直す	105
22	へばり付く	102	22	吹き付ける	131	8	書き直す	74
23	焼き付く	95	23	遣っ付ける	129	9	掛け直す	68
24	帰り着く	90	24	怒鳴り付ける	123	10	言い直す	64
25	染み付く	86	25	痛め付ける	118	11	出直す	57
26	食いつく	83	26	くっ付ける	110	12	持ち直す	51
27	吸いつく	71	27	落ち着ける	108	13	握り直す	43
28	寝付く	63	28	擦り付ける	107	14	読み直す	43
29	纏わり付く	60	29	切り付ける	104			
30	突つつく	51	30	叱り付ける	102			
31	有り付く	50	31	嗅ぎ付ける	94		なおる (683*7)	
32	居着く	49	32	括り付ける	92	1	向き直る	400
33	寄り付く	46	33	撫で付ける	92	2	立ち直る	146
34	食らい付く	45	34	受け付ける	89	3	開き直る	88
35	似付く	44	35	呼び付ける	89			
36	生まれ付く	39	36	植え付ける	87			
37	泣き付く	39	37	擦り付ける	83		ぬく (1329*44)	
38	齧り付く	38	38	踏み付ける	77	1	引き抜く	341
39	齧り付く	35	39	書き付ける	76	2	見抜く	307
40	錆び付く	35	40	辿り着ける	72	3	生き抜く	90
41	焼け付く	35	41	送り付ける	59	4	撃ち抜く	56
			42	撥ね付ける	59	5	追い抜く	51
			43	照り付ける	58	6	出し抜く	46
	とおす (332*52)		44	申し付ける	57	7	引っこ抜く	36
1	見通す	92	45	焼き付ける	57	8	守り抜く	36
2	押し通す	51	46	寄せ付ける	55	9	剃り抜く	35
			47	売り付ける	54	10	切り抜く	31
			48	ぬめ付ける	53			
	まくる (338*127)		49	刻み付ける	52			
1	喋り捲る	37	50	追い付ける	50			

表 6-1 22 後項動詞の使用頻度上位語が全体に占める割合【文学】

後項動詞	延べ語数	異なり語数	語数	A割合	語数	B割合
1 だす	26500	536	4	32%	8	43%
2 こむ	21852	257	4	17%	8	29%
3 つける	11923	140	4	39%	8	51%
4 あげる	10739	185	4	38%	8	53%
5 かける	10504	256	4	40%	8	58%
6 つく	8526	88	4	42%	8	57%
7 あがる	7700	90	4	59%	8	74%
8 あう	7627	391	4	32%	8	46%
9 かがる	3272	149	4	43%	8	68%
10 きる	3216	322	4	21%	8	33%
11 いれる	2357	52	4	59%	8	76%
12 てる	2073	85	4	28%	8	46%
13 なおす	2013	205	4	30%	8	51%
14 てる	1972	76	4	35%	8	54%
15 たつ	1825	58	4	43%	8	64%
16 あわせる	1815	66	4	51%	8	67%
17 こめる	1348	61	4	65%	8	83%
18 ぬく	1329	44	4	60%	8	72%
19 いる	1324	53	4	39%	8	63%
20 なおる	683	7	2	80%	4	96%
21 まくる	338	127	2	19%	4	30%
22 とおす	332	52	2	43%	4	57%

注：A 使用割合は上位 2 語と 4 語の場合で B 使用割合は上位 4 語と 8 語の場合である。

表 6-2 22 後項動詞の使用頻度上位語が全体に占める割合【社会科学】

後項動詞	延べ語数	異なり語数	語数	A割合	語数	B割合
1 だす	7026	280	4	36%	8	49%
2 こむ	5631	176	4	19%	8	33%
3 あう	3839	355	4	37%	8	49%
4 あげる	3499	108	4	58%	8	68%
5 つける	3056	94	4	45%	8	61%
6 かける	2304	100	4	49%	8	72%
7 いれる	2145	37	4	75%	8	88%
8 つく	1953	61	4	60%	8	75%
9 あがる	1271	57	4	59%	8	72%
10 てる	1077	42	4	46%	8	70%
11 きる	1003	120	4	36%	8	57%
12 なおす	961	113	2	47%	4	59%
13 たつ	751	25	2	75%	4	83%
14 あわせる	719	50	2	39%	4	55%
15 てる	555	38	2	46%	4	57%
16 かける	500	46	2	38%	4	58%
17 ぬく	409	39	2	40%	4	56%
18 こめる	361	40	2	39%	4	58%
19 いる	239	22	2	49%	4	64%
20 とおす	120	27	2	58%	4	71%
21 なおる	101	5	2	86%	4	99%
22 まくる	100	49	2	16%	4	32%

注：A 使用割合は上位 2 語と 4 語の場合で B 使用割合は上位 4 語と 8 語の場合である。

表 6-3 22 後項動詞の使用頻度上位語が全体に占める割合【自然科学：各技術・工学】

後項動詞	延べ語数	異なり語数	語数	A割合	語数	B割合
1 だす	4683	217	4	38%	8	50%
2 こむ	4526	179	4	19%	8	31%
3 つける	2550	94	4	49%	8	63%
4 あげる	2238	103	4	45%	8	62%
5 あう	1905	237	4	35%	8	48%
6 つく	1385	55	4	50%	8	68%
7 かける	1321	94	4	53%	8	71%
8 あわせる	1276	43	4	70%	8	80%
9 あがる	1249	57	4	50%	8	67%
10 いれる	1216	52	4	72%	8	79%
11 たつ	665	21	2	72%	4	82%
12 きる	613	102	2	18%	4	34%
13 なおす	572	128	2	39%	4	49%
14 てる	560	38	2	41%	4	57%
15 てる	386	38	2	25%	4	45%
16 かける	272	35	2	44%	4	61%
17 ぬく	224	28	2	50%	4	67%
18 こめる	189	34	2	41%	4	53%
19 いる	125	25	2	38%	4	54%
20 まくる	58	38	2	13%	4	24%
21 とおす	53	13	2	57%	4	79%
22 なおる	38	4	2	87%	4	100%

注：A 使用割合は上位 2 語と 4 語の場合で B 使用割合は上位 4 語と 8 語の場合である。

その結果を表7に示す。

三つのジャンルにおいて、22語中16語（「あがる」「あげる」「あわせる」「いる」「いれる」「かかる」「かける」「こめる」「たつ」「つく」「つける」「でる」「とおす」「なおる」「なおる」「ぬく」）が、それぞれの後項動詞を含む複合動詞の上位8語によって、出現総数の50%以上を占めていることがわかった。中でも「なおる」は、どのジャンルでも異なり語数が8語未満

表7 各ジャンルにおける22後項動詞の延べ語数上位8語が全体に占める割合

	後項動詞	文学	社会科学	自然科学系	
1	あう	46%	49%	48%	
2	あがる	74%	72%	67%	○
3	あげる	53%	68%	62%	○
4	あわせる	67%	71%	80%	○
5	いる	63%	84%	78%	○
6	いれる	76%	88%	79%	○
7	かかる	68%	81%	81%	○
8	かける	58%	72%	71%	○
9	きる	33%	57%	52%	
10	こむ	29%	33%	31%	
11	こめる	83%	77%	70%	○
12	だす	43%	49%	50%	
13	たつ	64%	91%	92%	○
14	たてる	46%	70%	79%	
15	つく	57%	75%	68%	○
16	つける	51%	61%	63%	○
17	でる	54%	71%	65%	○
18	とおす	75%	83%	91%	○
19	なおす	51%	71%	61%	○
20	なおる	100%	100%	100%	○
21	ぬく	72%	72%	80%	○
22	まくる	40%	47%	43%	

\*「なおる」は異なり語数が8語に満たないため、すべて100%となっている。

\*\*○印は3ジャンルとも50%以上の場合である。

で、100%となっている。以上のことから、22 後項動詞の7割以上の後項動詞が、複合動詞として使われる際には、限られた前項動詞との結びつきで用いられているということが明らかになった。

## 6. おわりに

本調査では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（書籍コーパス）の文学ジャンルの文章を対象に、複合動詞の後項動詞となる22動詞を検索した結果、延べ語数129,268語、異なり語数3,300語の複合動詞が抽出された。そのデータを資料として、22の各後項動詞の使用傾向を調べた。その結果、文学、社会科学、自然科学系（含技術・工学）のどのジャンルでも、22の後項動詞からなる複合動詞を見た場合、延べ語数が数万語と多くても、無数の異なる複合動詞が用いられているのではなく、限られた数の複合動詞が繰り返し用いられているということがわかった。今回の文学ジャンルの調査結果は、村田（2013）の結果を支持するもので、日本語教育の現場において、複合動詞の導入を考える際に、頻度の高いものを抽出し、優先して教育することが可能になることを示唆している。今回は、時間の制約により、個別の複合動詞の分析ができなかったが、今後は、後項動詞ごとにより詳しい分析を行いたい。また、個々の後項動詞が形作る複合動詞の特徴を、文学、社会科学、自然科学系（含技術・工学）のそれぞれのジャンルごとに見ていき、ジャンルによって使用傾向が異なる後項動詞が、ジャンル判別の指標となり得るのかどうか、検証をしていきたい。

## 謝辞

本研究で用いたデータは、村田・山崎（2012）で抽出したデータの一部を使用しています。使用をご許可くださった大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所准教授山崎誠氏に感謝の意を表します。

## 注

- 1) 本調査では、紙幅の都合により、村田・山崎（2012）では調査対象とした、アスペクトを表す「始める」「続ける」「終わる」と過剰・過度を表す「すぎる」の4動詞を対象外とした。
- 2) 村田・山崎（2012）「4.1 複合動詞の抽出方法」p87 参照。
- 3) 『大辞林』第三版三省堂、『言泉』第一版小学館
- 4) 村田・山崎（2012）では、一部の複合動詞が可能形あるいは使役形として出現していたため、それを文脈から判断して動詞の辞書形に戻して数えるという方法を採用した。しかし、社会科学の書籍について作業を進めるうちに、以下の理由から、出現形のままで頻度を調査する方法に変更し、村田（2013）から改めた。理由の一つは、テキストコーパスから自動的に複合動詞を抽出したデータを使用する調査ではあるが、各語については人が個別に文脈を見て確認する作業を行うため、態の変化まで加工作業に加えると、数多くの動詞で辞書形に変換する作業が必要となり、データ加工の過程で誤りが増える可能性があること、二つ目は、態の変換を行う基準が恣意的になる恐れがあること、三つ目は、日本語学習者の目に触れる頻度という観点から考えれば、出現形のままで頻度を見た方が教育上の示唆が得られやすいのではないかと考えたことである。ただし、出現形が命令形の場合には、辞書形に戻す基準が明確なため、辞書形にして頻度を数えることにした。ちなみに、出現形「落ち着け。」は「落ち着く」の命令形であるが、BCCWJでは語彙素「落ち着ける」として処理されている。
- 5) ここでは自然科学系ジャンル（含技術・工学）改訂版を用いている。この経緯は村田（2013）を参照されたい。

## 参考文献

- 斎藤倫明（1992）『現代日本語の語構成論的研究—語における形と意味—』ひつじ書房
- 姫野昌子（1999）『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房
- 村田 年（2008）「文章と複合動詞—論述文ジャンルを特徴づける新たな指標を探して—」『日本語と日本語教育』慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター 36号 pp. 1-33
- 山崎 誠（2009）「代表性を有する現代日本語書籍コーパスの構築」人口知能学会誌, 24(5), pp. 623-631
- 村田 年・山崎誠（2012）「自然科学系書籍における複合動詞の使用傾向—後項動詞を指標として—」『日本語と日本語教育』慶應義塾大学日本語・日本文化教育セン

ター 40 号 pp83-112

村田 年 (2013) 「社会科学系書籍における複合動詞の使用傾向—後項動詞を指標として—」『日本語と日本語教育』慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター 41 号 pp. 67-95

#### 関連 URL

「中納言」 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

「KOTONOHA 国立国語研究所言語コーパス整備計画」

<http://www.ninjal.ac.jp/kotonoha/>